

平成24年11月12日

各位

上場会社名 株式会社 スーパー大栄
代表者 代表取締役社長 中山 勝彦
(コード番号 9819)
問合せ先責任者 常務取締役管理本部長 阪本 博美
(TEL 093-602-2770)

業績予想と実績との差異に関するお知らせ

平成24年5月18日に公表した平成25年3月期第2四半期累計期間の業績予想数値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成25年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	12,550	30	10	20	2.77
今回修正予想(B)	12,060	28	16	△23	△3.27
増減額(B-A)	△489	△1	6	△43	
増減率(%)	△3.9	△5.2	63.7	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成24年3月期第2四半期)	12,794	△51	△67	△115	△15.98

修正の理由

当第2四半期累計期間の小売業界は、同業他社だけでなく、業態の垣根を越えた企業間の低価格競争が定着化していることに加え、長びくデフレや将来の消費税増税などの不安要因で消費者の生活防衛志向はますます強くなり厳しい環境が続いております。

このような状況の中、当社では中長期的な店舗戦略と収益力の強化並びに財務体質の健全化を図る観点から、老朽化が激しく再投資しても再生が厳しい不採算店の5店舗を閉鎖いたしました。

その結果、売上高は前回発表予想を489百万円下回り12,060百万円となりました。営業利益、経常利益につきましては、徹底した販管費の見直しでローコスト経営に着手いたしましたので、営業利益は28百万円、経常利益は16百万円となりました。しかし、四半期純利益につきましては、株式市場の低迷で保有有価証券の評価損を44百万円計上した結果、前回発表予想を43百万円下回り、23百万円の四半期純損失となりました。

なお、通期(平成24年4月1日～平成25年3月31日)の業績予想に変更はありません。

(注)上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により上記予想数値とは異なる結果となる場合があります。

以上